

不安の時代

若き人びとの心のゆくえ



2025.3.21 FRI

オーバルホール | 大阪府大阪市北区梅田3-4-5
毎日新聞大阪本社ビルB1

18:30-21:00 (17:30開場)

参加費: 無料 (事前申込み制)

定員: 480名 (先着順) ※手話通訳あり

21世紀のこんにち、世界中の若年層が精神的不安を抱えた経験をもち、毎日を生きているといわれます。人生の過渡期にある人びとが不安を抱くこと自体は、歴史的に珍しいことではありません。

しかし、文化的境界をまたいで人びとや商品、情報が移動し、新しい価値と旧来の価値が相克する現在、個人がもつ欲求は社会的期待とかならずしも一致せず、これまでになく不安が出現しています。また、隣人どうして価値観をすり合わせにくくなっていることも、不安を大きなものになっています。

こうした不安はうつ病や不安障害、ストレス関連症状など医学の語彙で語られるいっぽう、文化的にそれを解釈する枠組みもたえず刷新されてきました。本企画では、若年層をとりまくグローバルな現状にも目を配りつつ、不安に対するローカルな実践を紹介し、不安をめぐるあらたな視点とアプローチについて討議します。

■プログラム

18:30-18:35 開会挨拶 木戸 哲(毎日新聞社大阪本社編集局長)

18:35-18:40 挨拶・趣旨説明 吉田 憲司(国立民族学博物館長)

18:40-19:00 **講演1** 鈴木 晃仁(東京大学・教授)
「20世紀前半の東京の若者と不安
—歴史と国際比較」

19:00-19:20 **講演2** 奥田 若菜(神田外語大学・教授)
「社会格差が引き起こすブラジルの
若者の不安」

19:20-19:40 **講演3** 阿毛 香絵(京都大学・助教)
「『生きづらさ』を超えて
—セネガルの若者たちの事例から」

19:40-20:00 **講演4** 諸 昭喜(国立民族学博物館・准教授)
「韓国の若い世代の鬱火」

20:00-20:20 休憩

20:20-21:00 ディスカッション
鈴木晃仁×奥田若菜×阿毛香絵×諸昭喜
司会:飯田 卓(国立民族学博物館・教授)

21:00 終了

講演1

鈴木 晃仁(すずき あきひと)
東京大学・教授

1986年に東京大学教養学科を卒業し、1992年にロンドン大学・ウェルカム医学史研究所にてPhDを取得。1997年より慶應義塾大学経済学部で歴史学を、2021年より東京大学人文社会研究科で死生学応用倫理を教える。専門は医学史で、特にイギリスと日本の精神医療と感染症の歴史を研究している。著作はMadness at Home(2006)、Reforming Public Health in Occupied Japan, 1945-52(2012、共著)、義塾賞(2007)、The Carlson Award, Cornell University Medical College(2014)。



講演2

奥田 若菜(おくた わかな)
神田外語大学・教授

社会格差の視点からブラジルで調査研究を行っている。近年では、中絶論争や感染症に関する研究に取り組んでいる。著作に『貧困と連帯の人類学:ブラジルの路上市場における一方的贈与』(2017年、春風社)、『格差社会考:ブラジルの貧困問題から考える公正な社会』(2021年、神田外語大学出版局)、共訳書にデボラ・ジニス著『ジカ熱』(2019年、水声社)などがある。



講演3

阿毛 香絵(あもう かえ)
京都大学・助教

京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科助教。大学学部2年生の時にセネガルの首都ダカールのシェイク・アンタ・ジョブ大学に留学し、以後西アフリカのイスラームと政治、若者の生き方に関心を持って研究してきた。2019年にフランス国立社会科学高等研究院(EHES)で博士号(文化人類学)を取得。近年の論文に「現代社会における宗教性に関するアフリカ・アジア比較研究の可能性」(2024)、「Emergent Use of Visual Media in Young Muslim Studies」(2024)などがある。



講演4

諸 昭喜(Che Sohee)
国立民族学博物館・准教授

韓国の産後の病を中心に病の変遷に関する研究を進めている。最近では若者の鬱火に関する研究に力を注いでいる。著作に『産後の(風):病いの語りからみる韓国社会とジェンダー』(2024年、春風社)、共著『バンラデシュ農村を生きる』(2021年、風響社)、共訳書に北中淳子著『우울증은 어떻게 병이 되었나(うつ病はどのように病になったか)』(2023、April Books)などがある。



申込み方法

国立民族学博物館

🔍 クリック

国立民族学博物館のホームページ内にある申込みフォーム画面に従って必要事項をご入力ください。

https://www.minpaku.ac.jp/ai1ec_event/57171

2025年2月4日(火)受付開始予定

※参加申込みされた方の個人情報は本講演会及び次回以降の講演会案内でのみ使用いたします。

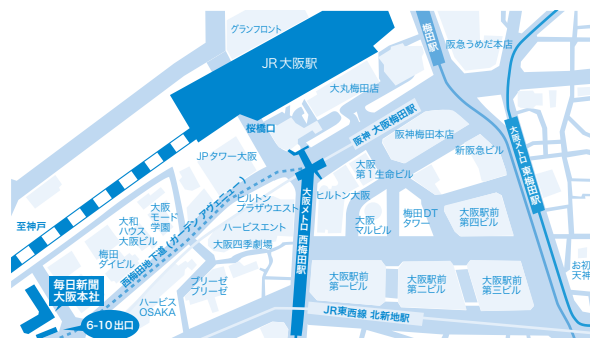


お問い合わせ先

国立民族学博物館 研究協力課 TEL 06-6878-8209

MAIL minpakukoenkai@minpaku.ac.jp

講演会場



●JR大阪駅(桜橋口)から地下道にて徒歩約8分・阪神大阪梅田駅又は大阪メトロ西梅田駅から徒歩約8分
※車でのご来場はご遠慮ください



リサイクル適性®
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。